

なくすな！大阪市

2月3月

2月14日開会

大阪市会へ向けて

市営

売りとはすな！地下鉄・市バス

市民要求 前進めざす 市民集会

2月7日(火) 午後 6時30分開会
8時30分閉会

東成区民センター
2階大ホール (定員615名)

地下鉄今里筋線・千日前線「今里駅」
②番出口より徒歩3分



★講演
中山 徹 さん
(奈良女子大学教授)



大阪市解体をねらう「都構想」への再挑戦(「特別区」「総合区」のペテン)、大阪市営交通の廃止条例案、カジノ誘致、教育、くらし破壊等々、2-3月大阪市会(2月14日開会)は、維新市政との全面的なせめぎあいの局面を迎えています。

市会開会を前に、大阪市対策連絡会議と大阪市営交通の会、よくする会の共催で、元気を集める市民集会を開催します。
こぞってご参加ください。

山中智子市会議員から議会報告

市民のなかに渦巻く要求の実現へ
アピールを行います

主催 大阪市対策連絡会議／大阪市営交通の会／大阪市をよくする会
連絡先 ☎06-6357-6139

大阪市廃止が再浮上！

「特別区」の「法定協議会」設置議案 9億円かけてまた「住民投票」を??

2月14日から始まる大阪市会に、2015年5月の「住民投票」で否決された「特別区」を再び浮上させる「法定協議会設置議案」が提案されます。

吉村市長らが各区で行った住民説明会では「住民や家族の間に分断を落ち込む住民投票はしないほしい」などの批判の声があがっています。

また、「合区」前提の「総合区」などの「制度論」は、難解で市民の理解はすすんでいません。こんな状態で3月末までに「総合区」の「合区・区割り案」を発表するという市長、「24区を残して」という選択肢を初めから排除することはまったく不当です。

くらしを守る政策の実行こそ必要なときに、上からの「制度」いじりは、市民に何のメリットもありません。

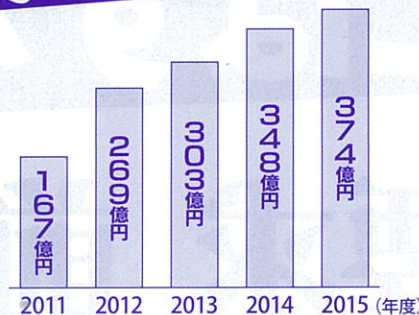


大阪市財政・一口メモ

- 大阪市の財政は、1989年度以降27年連続の黒字(財政局発表)を続けています。
- 借金(市債)は、11年連続で減らし金額にして1兆600億円も減少しました。
- 貯金(基金)は、借金返済のための「公債償還基金」が4,450億円、資金不足の時に使う「財政調整基金」が1,679億円(2016年3月末時点)も貯まっています。

地下鉄の 1日1億円の黒字は 市民のために使おう！

大阪市営
地下鉄の
黒字額



市営地下鉄・市バスの「廃止条例案」(3分の2で可決)も提案されます。

当面は、大阪市が株を100%持つとしていますが、維新のねらいは「完全民営化」です。先の保証は何もありません。

市営地下鉄を守り、大きな黒字を活用して、津波・浸水対策や安全可動柵の設置、市バスへの支援、コミュニティ路線バスの充実や新設など、便利で安心・安全に利用できる大阪市営交通にするため、廃止条例には反対です。

地下鉄は1日1億円の黒字を生みます！

トイレの改修は平松市長時代(2011年3月)の計画からはじまりました。維新市長の成果だというのは誤解です。

一方、平松市長時代の計画には「転落防止柵」を平成31年度末までに御堂筋線の全駅に設置することが決まっています。

これを維新市長が「民営化」のために中止したのです。

